

第2回定例研究会

『近代化』を追い求めた人々 幕末・明治の鍋島家当主親子2代の生涯

第2回定例研究会は、財団法人鍋島報効会の鍋島直晶先生をお招きして、『近代化』を追い求めた人々 幕末・明治の鍋島家当主親子2代の生涯』というテーマで講演いただきました。講演では、幕末・明治期における鍋島家当主の、近代化への取り組みについてお話いただきました。鍋島直晶先生のご経歴は、下記の通りです。

【講師プロフィール】

1989年より財団法人鍋島報効会の組織再編に着手する。一方で、地元の学芸員の協力を得て、財団の所有文化財の散逸防止、閉館していた博物館の再開に力を尽くす。文部科学省研究費補助金「江戸のものづくり」（我が国の科学技術黎明期資料の体系化に関する調査研究）との関わりから、財団の所有文化財をひろく大学等の学術機関に公開し、研究資料として役立てることへの意義を感じ、現在にいたるまでその活動を継続している。

講師

鍋島 直晶 氏（財団法人鍋島報効会 理事長）

テーマ

「近代化」を追い求めた人々 幕末・明治の鍋島家当主親子2代の生涯

講演日

2006年6月17日（土） 14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205



詳細な資料に基づき丁寧に説明をいただきました